

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるように大切に保存して下さい。

第②類医薬品

非ピリン系

カンキ®

カゼ感気顆粒

のみ易い3色顆粒

「かぜ」と云えば軽く考えられがちですが、その症状は大へん複雑です。

「かぜ」にかかるとまず寒気がくる、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、頭が痛いと言った症状があらわれます。これが進んでいきますと、咳や悪寒、発熱、関節の痛みなどが加わりさらに肺炎を併発するという事になります。「かぜは万病のもと」と云われる様にいろいろ病気の原因をともないますので、出来るだけ早いうちに治療することが大切です。

「カゼ感気（カンキ）顆粒」は和漢薬「地龍」にアスピリンアルミニウム、クロルフェニラミンマレイン酸塩、dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩ノスカピンを配合した製剤で「かぜ」の初期症状にすぐれた効果を発揮します。

「有効成分」 3包 2,700 mg中

白色

アスピリンアルミニウム ……………1,500 mg
(鎮痛解熱作用)

黄色

クロルフェニラミンマレイン酸塩 …… 7.5 mg
(抗ヒスタミン作用)

dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩 …………… 30 mg
(気管支拡張作用)

ノスカピン …………… 30 mg
(鎮咳作用)

無水カフェイン ……………150 mg

黒色

地龍エキス散 ……………300 mg
(ねっとり)

「効 能 効 果」

かぜの諸症状（鼻水、はなづまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和。

「用 法 用 量」

15歳以上（大人）……………1回1包宛
1日3回食後なるべく30分以内に服用。

してはいけないこと ☒

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1. 次の人は服用しないこと

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人

(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人

(3) 15歳未満の小児

(4) 出産予定日12週以内の妊婦

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気があらわれることがある）

4. 服用前後は飲酒しないこと

5. 長期連用しないこと

裏面に続く

第②類医薬品**カゼ感気(カンキ)顆粒****△ 使用上の注意****相談すること**

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 授乳中の人
 - 高齢者
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状のある人
高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 服用後、次の症状があらわれた場合は直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|--|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ、青あざができる |
| 消 化 器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血 |
| 精神神経系 | めまい |
| 泌 尿 器 | 排尿困難 |
| その他 | 鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中 中の痛み、過度の体温低下 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

| 症状の名前 | 症 状 |
|--|---|
| ショック (アナフィラキシー) | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる |
| 皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する |
| 肝機能障害 | 高熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる |
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする |
| ぜんそく | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる |
| 再生不良性貧血 | 青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる |
| 無顆粒球症 | 突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる |

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
口のかわき、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなるらない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【保管及び取り扱い上の注意】

- 直射日光の当たらない(湿気の少ない)涼しい所に(密封して)保管すること
- 小児の手の届かない所に保管すること
- 他の容器に入れ替えないこと
(誤用の原因になったり品質が変わる)

お問い合わせ先

本剤のご使用により、何かお気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

富山薬品株式会社(お客様相談口)

☎フリーダイヤル 0120-36-0139